

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふる あたご

第 62 号
【発行】
2010 年 10 月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



後列／土田恵子：高橋美穂：田邊麻生：富樫亜希子：若月陽子：南洋子：野口英樹
前列／田村かよ子：進藤香：成田洋子(副委員長)：斎藤聡子(委員長)：廣川江里香：関川奈美絵

わたしたちが “ホスピタリティ向上委員” です！

(関連記事は2ページ)

目次

ホスピタリティ向上への取り組み・・・2

事業所だより・・・・・・3～10

バッハ先生のひとりごと 第4回・・・5

お手軽レシピ・・・・・・・・・・8

波田野先生のコラム 第16回・・・11

お客様インタビュー 柳都大橋編・12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

「介護士は心のドクター」「何度も会いたくなる人になれ」「笑顔に勝る化粧はない」

接遇への一步

今年度、はあとふるあたごは、「ホスピタリティ向上」に全力で取り組みます！

ホスピタリティ（接遇）とは、「おもいやり」「心からのおもてなし」という意味です。形や行動などで示す「マナー」は、相手に不快感を与えない為の最低限のルールです。そこに「心」が加わると、ホスピタリティ（接遇）になります。ホスピタリティの語源はラテン語の“Hospice”（客人等の保護）です。

接遇とは、常に笑顔、言葉、動作により、とっつきやすい人・気づける人になることです。

はあとふるあたごホスピタリティ（接遇）向上の目的

- ・はあとふるあたご全体の、ホスピタリティの向上を目指します。
- ・お客様に気持ちよく過ごして頂けるような、接遇を社員が身につけることを目標とします。
- ・一目置かれるような社員全員の接遇向上に努めます。
- ・はあとふるあたごからホスピタリティ向上という新たな活動を始め、介護業界のイメージの変革と業界トップのホスピタリティを目指します。

はあとふるあたご「接遇研修」

約 300 名の全社員を対象に、外部講師からの研修を全 12 回に分けて実施しました。研修では①「プロ意識」②「ホスピタリティ（おもてなし）」③「態度能力（挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い）」の 3 つを高め、基本に沿った介護サービスの更なる向上を目指すという内容でした。職員全員が接遇研修を受けることで、全職員の接遇スキルをレベルアップし、会社全体の質の向上を目指していきます。

ホスピタリティ向上委員会発足！！

はあとふるあたごは、3 月よりホスピタリティ向上委員会を立ち上げました。委員会メンバーは「社内トレーナー育成研修」として 3 ヶ月間にわたり外部講師の特訓を受けました。7 月よりホスピタリティ向上委員会が中心となり、社内接遇を定着させる為、「はあとふるあたごホスピタリティ向上運動」を実施し、社内接遇を高める取り組みを始めています。時代に合った「接遇」とは何かを、常に考えられるホスピタリティ委員会でありたいと思います。

■毎月の取組み事項■

平成 22 年 7 月 姿勢・身だしなみ	8 月 身だしなみ・クレドカード唱和
9 月 クレドカード唱和・挨拶	10 月 挨拶・お辞儀
11 月 お辞儀・表情（笑顔）	12 月 表情・身だしなみ
平成 23 年 1 月 身だしなみ・クレドカード唱和	2 月 クレドカード唱和・挨拶
3 月 挨拶・お辞儀	

※「クレドカード」とは、会社理念や方針が記載されているカード。全社員が携帯し、常に確認ができる。おもてなしの素が詰まっているカード↓（裏面には「はあとふるあたごの方針」と「はあとふるあたごの指針」が記されています）。

はあとふるあたご 6 つの心得

- ① サービスの心・技・体の順番と意味を理解して業務を行います
- ② お客様を大切にします
- ③ お客様の視点で対応します
- ④ 節度ある接遇マナーを心掛けます
- ⑤ お客様の声に素直に耳を傾けます
- ⑥ お客様の満足が、私達の満足です

私達はクレドカードを常に携帯し、これに基づいて考え行動します

はあとふるあたごの基本理念

私達 はあとふるあたご は、人を一番大切にします。
これが、私達 はあとふるあたご の基本理念です。

すべての社員が

はあとふるあたごで働くことに幸せを感じます。

私達が幸せに働けるのは、

私達を必要としてくれるお客様がいっぱいいるからです。

デイサービスセンター坂井東

●坂井東初のラーメンデイ！！「成功？ or 失敗？」の巻

以前からリクエストの多かった、ラーメンを作ってみました。
「ラーメン大好き」という方が多くおられ、喜んでくれるのでは！？、と職員一同期待しておりました。

冷やしラーメンという案もありましたが……。夏だからこそ、温かいラーメンをお出ししたいと、厨房一同がんばりました。

……が、一部の方には、期待していたような“ラーメン”ではなかったようです。「ほっぺたが落ちそう」「おいしい！！」と、スープまで飲んでくださる方もおられましたが、みなさんにおいしかったと喜んでいただくには、まだまだ研究が必要のようです。



◎厨房から一言◎

みなさまの期待に応えられるよう、さらに研究を重ね、「おいしかったからまた食べたい！」と喜んでいただけるメニューを、ご提供していきたいと思います。次を、お楽しみに。

デイサービスセンター坂井東 五十嵐 萌
電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

グループホーム五泉

●“じゃがいも”収穫！！

畑で実った“じゃがいも”を、近くの園児のみなさんが、力を合わせて収穫してくださいました。

じゃがいもの数は少なめでしたが、「ほら、こっちにもあるよ」「転ばないようにね」と、お客様は園児たちを温かく見守っておられました。

収穫の後は、お待ちかね。

園児のみなさんからお客様へ、歌のプレゼント！！



園児のみなさんとお客様が手をつなぎ、歌ったり、手遊びをしたり……。中には涙されていた方も。

笑顔あり、涙ありの楽しい時間は、あっという間に過ぎていきました。

園児のみなさん、またホームに来て下さいね。

待ってま～す (*^_^*)

グループホーム五泉 石本 早苗
電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

グループホーム三条

●大衆演劇を楽しみました♪

三条市には、「大衆演劇場 三条東映」があり、月替わりで、いろいろな劇団が公演に訪れています。

この度、お客様と一緒に、観劇に行ってまいりました。

「三条東映」さんのお迎えで、いざ出発！



今回は「劇団 真田」の公演でした。第一部の演劇と第二部の歌と踊り。お客様の「がんばれー！」という声援も飛び、同行したスタッフも、美しく素晴らしい舞いに感激。

おひねりも用意して、お渡ししました（写真）。一緒に写真も撮っていただき、いい記念になりました。

また機会を見つけて、今回行けなかったお客さまとも、ぜひ一緒したいと思います。

グループホーム三条 知野 栄久子
電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター松浜

●夏の壁画と夏祭り!!!

デイサービスセンター松浜の夏の壁画は“水族館”と決めてから……。完成まで約一ヶ月。布と紙とビニールひもを使って作りました。

イカ、鯛、鮭、ペンギン、タコ、ヒラメ、サンマ、亀に……。ヤドカリ!!!



ほとんどのお客様が手を貸してくださり、大作が完成致しました（写真右下）。

そして、3日間行われた“夏祭り”。今年のメニューは、かき氷にポップ焼き、チョコレートフォンデュ。ジュニアチアガールも遊びに来てくださり、にぎやかな夏祭りとなりました。

暦の上ではもう秋ですが、夏はまだまだ終わらない、デイサービスセンター松浜です。

デイサービスセンター松浜 金子 ひろみ
電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705



パッパ先生のひとこと 第4回

～縦割りの問題～

新潟大学工学部福祉人間工学科 教授 工学博士／歯学博士 林 豊彦

アメリカの研究室にいたとき、日本人はとても器用だということに気がついた。それに比べてアメリカ人はとても不器用で、一人でいろいろなことはできない。ところが、研究室の成果となると、圧倒的にアメリカの方が多くなる。その理由は、きちんと分業体制ができているからだ。

日本人は個人が弱く、集団が強いというのは必ずしも正しくない。その集団とは、あくまで同じような人たちが集まったときだけで、多種多様な人が集まると、とたんにうまく行かなくなる。「価値観や文化的背景が違う人たちが一緒に生きる」という文化がないからだ。

福祉では、一人の利用者を支援するとき、多くの専門家が関わらなければ最良の支援はできない。ところが連携がへたで、各専門職は自分の専門の中だけで答えを見つけようとする。理由のひとつは上記の日本文化の特性、もうひとつは関連分野の知識が不足しているからだと思う。私はある福祉系の4年制大学でテクノエイド論を教えているが、今年の受講生はたった6人だった。



(自宅の庭にて)

あぢさゐの中に一輪
ゆりの花
緑雨にぬれる
やまぶき眩し



グループホーム新津

●9月7日、避難訓練を実施しました

猛暑続きの折り、当日はめずらしく雨となりました。そんな中、午前10時20分、火災報知機のベルと共に訓練が開始されました。

お客様が掛けている“たすき”には、ホームの連絡先が書いてあります（右写真）。



火災時の対応では、お隣の老人保健施設「おぎの里」と、協力体制を取らせていただいております。訓練当日は、お忙しい中、岩田事務長さんが最後までお付き合い下さいました。

皆さまのご協力、ありがとうございました。



グループホーム新津 渡邊 やよひ
電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンターさかえ

●初めてのバイキング

今年は例年になく猛暑で、熱中症や脱水症などの心配が尽きませんが、デイサービスセンターさかえは元気です。

8月22日、当センターでは、夏祭り企画のひとつとして、バイキングを行いました。さかえのお客様は控えめな方が多く、遠慮されているのではという思いから、円卓をテーブルに設置し、お客様にご自分で好きなだけ召し上がって頂けるようにと、初の試みをしました。

調理担当の職員が腕によりをかけ、この日のために一生懸命に作りました。メニューは、肉、魚料理、トマトのパスタ、煮豆、胡麻豆腐、糸瓜を使った和え物、いなり寿司、などなど。季節の食材を、豊富に取り揃えました。



意外にも女性のお客様が食欲旺盛で、職員も皆ビックリ！！どの料理もあっという間に無くなりました。お客様からは、「とても美味しかった」「いろんな味が楽しめて良かった」「どれにしようか選ぶのも楽しかった」との声が聞かれ、お食事を楽しんで頂けたようでした。

料理の味も、お腹もご満足頂けたかと思います。お客様の幸せそうな笑顔が溢れたひと時でした。

デイサービスセンターさかえ 飯塚 弥生
電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター河渡本町

●グングン大きくな～れっ！！

まだまだ残暑厳しい今日このごろ、皆様、いかがお過ごしですか？

8月26日、当センターの花壇に、数種類の野菜たちがデビューしました(*^。^*)

ここで、周りの花々にも負けず、グングン育っている野菜たちを紹介いたします！！

エントリーNo.1「小松菜」、No.2「大根」、No.3「白菜」、No.4「ブロッコリー」、No.5「春菊」……です！！



8月末には、猛暑にも負けず、あちらこちらから双葉が顔を出しました☆☆

まだ苗がヒョロヒョロなので、9月上旬に間引く予定です♪

今から収穫するのが待ち遠しいです♡

大きく 大きく 大きくな～れっ！！

デイサービスセンター河渡本町 山口 美里
電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

福祉用具課

●食欲の秋・読書の秋を、快適なクッションで過ごしてみませんか？

今月は、長時間座っても疲れない、「**モニートクッション**」のご紹介です。



日々の暮らしの中で、椅子や畳に座っている時間は意外と長いものです。食事やテレビ観賞、読書などが長時間に渡ると、知らず知らずのうちに腰や背中に負担をかけてしまいます。

そこでおススメなのが、「モニートクッション」です。椅子や畳、床などに直接置くだけで、骨盤を安定させ、楽な姿勢で長時間快適に過ごす事ができます。



定価 19,950 円（税込）

■背もたれが腰回りを包みこむように支え、上半身を安定させます。

■新素材「エクスジェル」が体圧を分散し、疲労感を軽減します。

「モニートクッション」を椅子や畳に置いて座ってみると、まるで背後から人の手で支えられているような安定感が得られます。程良い柔らかさがあり、体重が分散されるため、長時間座っていても、臀部が痛くなりにくいです。

和洋両方の“座る”を支えてくれる、おススメの逸品です。

福祉用具センター柳都大橋 佐藤 洋

24時間・365日、いつでもお電話下さい！▶

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

水原多機能施設

●☺あっちゃ、あっちゃ水原～♪ 米・糸・桜～♪☺

水原は、8月24日・25日がお祭りでした(*^^)v

24日は民謡流し。はあとふるあたごのピンク色のハッピーを着た職員が、汗だくになりながらも一生懸命踊りました＼(・ロ＼)(／ロ・)／♪

↓お泊まりのお客様は、お揃いのハッピーを着て応援に駆けつけて下さいました♡



25日はすぐ近くの瓢湖で花火大会があり、手作りのかき氷や綿あめを食べながら、迫力満点の花火を満喫しました♪

今年は記録的な猛暑でしたが、それ以上に記憶に残る楽しい夏を過ごすことができましたね!!＼(´u´)ノ

デイサービスセンター水原 山口 綾香

電話 0250-62-8888(デイ)／0250-62-8886(ショート)／0250-63-1222(小規模多機能ホーム)

FAX 0250-62-8887(共通)

☆鬼 饅 頭☆



■ホットケーキミックス
で、簡単にできる鬼
饅頭です。
おに
まんじゅう

■さつま芋、砂糖は、
お好みで加減してくだ
さい！

＜材料＞ 5人分

ホットケーキミックス	…	100g
卵		1/2 個
砂 糖		15g
牛 乳		50cc
さつま芋		100g
サラダ油		10g

1. さつま芋をよく洗い、皮付きのまま縦の目切りにし、水にさらしたあと、電子レンジでチン！
2. 卵と砂糖をよく混ぜ、ホットケーキミックスと牛乳を加える。最後にサラダ油を加え、生地を作る。
3. 「2」に、「1」の 3/4 を加え、練りこむ。
4. 銀カップに「3」を流し入れ、「1」の残りの 1/4 をトッピングする。
5. 蒸し器で 15 分程蒸したら……、できあがり！！

デイサービスセンター松浜 佐藤 愛

デイサービスセンター横越

●「もっと右！」「まっすぐ、まっすぐ」「そこだよ！」



ホールに響くお客様の
声！！

恒例の『納涼祭』が、8月
19・20日に行なわれました。
今年は、センターの畑で採れ
たスイカで、スイカ割りをし
ました。職員は、お客様の声
をたよりに、エイッ！ 見事に



割れて、拍手や笑いでいっぱい。その後、綿あめやカキ氷を味わ
ったり、ヨーヨーつり、的あてゲームなど、お祭りムード満載で、
これまた笑顔いっぱい。今年は、ボランティアの皆様が炭坑節の

踊りを教えてください、より一層盛り上がりました。

さて、お客様がいつも楽しみにされている職員の余興で
すが……。今年は、吉幾三、ザ・ピーナツ、瀬川瑛子、デ
ィック・ミネ&竹下景子など、豪華（？）歌手出演の『紅
白歌合戦♪』。暑い夏に熱い歌声。皆様、楽しまれました。

今年のお祭りも、例年以上に盛り上がりましたね。また
来年も、楽しみましょう！！



デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

デイサービスセンター柳都大橋

●柳都大橋、夏祭り～♪

2日間にわたり、夏祭りを開催しました^^

夏祭りといえば……。お好み焼き！ かき氷！

今年は、たこ焼きも作りました！

皆様おいしいと言って下さり、職員も作りがいがあったというもの。



今年のメインは、職員による、イリュージョン！ 杖の空中浮遊や、箱に入った職員を杖で串刺しにするという大がかりなものまで。息をもたせぬマジックの数々でした。串刺しマジックでは、心配するお客様をよそに、箱の中から出てきたのは大仏様、という落ちも……。

最後に、恒例のビンゴ大会でしめくくりました。

来年も、皆様に喜んでいただけるような夏祭りを、開催したいと思います^^



デイサービスセンター柳都大橋 松浦 浩子
電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

訪問介護課

●実習生、奮闘！

当社が開講する「ホームヘルパー2級講座」の受講生が、講義と演習を終え、お客様と実際に接する実習課程に入りました。ここ訪問介護ステーションにも、連日のように実習生が訪れています。介護の仕事に就きながら勉強している方、本来の勉強と両立している専門学校生など、実習生も様々です。

訪問介護は、お客様のご自宅、生活に立ち入らせていただくとあって、実習生はみな、緊張の面持ちで実習に臨みます。多くの実習生が、お客様と一対一になったとき、自分では対応できない事が起こったらと心配しているようです。同行するヘルパーも、「自分もはじめは緊張したなあ」と思い出します。でも、お客様と笑顔でやり取りしている様子を見て……。思っていたより楽しそうだと、同行したヘルパーもちょっと嬉しく、自分の仕事に誇りを持てる瞬間でもあります。

連日の暑さの中、1日が終わるころには疲れも滲み出ていましたが、少しでも訪問介護の楽しさを感じ取ってもらえたらと、ヘルパー一同お手伝いをさせて頂いております。

快く実習生を受け入れて下さるお客様に、心より感謝申し上げます。これからも、どうぞ宜しくお願いします。



訪問介護ステーション 井村 領子
電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

居宅介護支援課

●有料老人ホームについて

高齢者向けの施設として、最近、新潟でも有料老人ホームの数が増えてきました。

有料老人ホームとは、生活サービスを提供することを目的とした施設であり（但し、老人福祉施設でないもの）、介護付・住宅型・健康型の3つのタイプがあります。介護付と呼ばれるホームでの介護サービスは、介護保険の適用になります。主に民間事業者が運営しており、民間版の特別養護老人ホームと言われることもあります。ただ、特別養護老人ホームと違い、入居時に一時金を必要とする場合が多く、料金はかなり高額になる所もあります。

有料老人ホーム以外にも高齢者向けの施設は様々ありますが、違いがわかりにくいため、適切な選択をすることは難しくなっています。入居してから「こんなはずではなかった」ということがないように、施設の中身をよく知り、きちんと理解しておくことが大切です。

<有料老人ホームの分類>

介護付	65歳以上が対象	食事や日常生活のサービスに加え、介護サービスが付いた高齢者向けの居住施設（介護保険の特定施設の指定を受けたもの）。介護が必要になっても、施設が提供する介護サービスを利用しながら生活を継続。
住宅型	おおむね60歳以上が対象	食事等のサービスがついた高齢者向けの居住施設。介護が必要になった場合は、入居者自身の選択により、外部の訪問介護等の在宅サービスを利用しながら生活を継続。
健康型		食事等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。介護が必要になった場合は、契約を解除して退去。

居宅介護支援センター河渡本町

川田 千鶴子

デイサービスセンター城北町

●城北町に夏が来た！

デイサービスセンター城北町では、今年も恒例の「夏祭り」を開催いたしました。

色とりどりの提灯や揃いの法被、民謡の音色に、皆様口々に「良い雰囲気だね」「何が始まるの？」と、まるで子供のころに戻られたような、素敵な笑顔を見せて下さいました。

今年はさらにパワーアップし、ヨーヨーやたこ焼きも。ホール内はソースの良い香りで、さらにお祭りムード満点。

ビンゴ大会では、“豪華景品”をご用意させて頂きました。



「この番号出して～。この番号が出ればビンゴなの～」と、とても楽しい時間を過ごして頂きました。

そしていよいよクライマックス。法被を着た職員が、「これから音頭」を披露すると、お祭りのボルテージは一気に頂点に達しました！ お客様も職員も、額に汗をかきながら躍りました。

来年（笑）は……。さらにお楽しみに！



デイサービスセンター城北町

竹内 啓泰

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

波田野先生のコラム第16回

丸山診療所 院長 波田野 徹



『痛風について』

ある日急に、足の親指の付け根の関節が腫れて強い痛みで襲われ、歩けなくなります。この症状が痛風発作で、治療しないと再発が起こり、放置していると、足首や膝の関節まで腫れてきます。1960年以降、食生活の欧米化やアルコール摂取の増加に伴って、患者数は急増しています。



それでは痛風は、どのようなメカニズムで起こるのでしょうか？ 痛風発作の原因は、尿酸と考えられています。高プリン体の過剰摂取などで尿酸の濃度が上昇すると、尿酸は結晶化して関節内に沈着し、この結晶を白血球が攻撃する際に痛風発作が起こります。痛風になる人は、肥満、高血圧、高脂血症を合併していることが多く、心筋梗塞や、脳血管障害の危険にさらされている可能性が高いと考えられます。痛風発作があれば、これらの合併症を念頭

に置いて、しっかり治療する必要があります。健診などで、尿酸値が7mg/dl以上であれば、高尿酸血症と診断されます。痛風の症状、高尿酸血症があれば、早めに医師に相談しましょう。様々な薬物療法があります。

尿酸値を上げないように、痛風から身を守るために、食べすぎ、飲みすぎに注意した生活を心がけましょう。痛風から身を守る生活は、生活習慣病から身を守ることにもなります。

☆☆ 痛風予防の心得 ☆☆

- 1) 美味しいもの（プリン体の多いもの）摂取は適量に
- 2) 肥満に注意し、飲酒も控えめに（ビールの飲みすぎは要注意）
- 3) 適度な運動をする
- 4) 水分を積極的にとる（毎日2リットル以上）
- 5) ストレスをためない（趣味、入浴などの時間を大切に）



丸山診療所[新潟市江南区丸山 472-1] Tel. 025-278-5100

お客様インタビュー

～デイサービスセンター柳都大橋 編～



デイサービスセンター柳都大橋をご利用いただいている星野熊一さまは、とても手先が器用で、折り紙で沢山の作品を作っていらっしゃいます。その作品は、新潟大学の医学祭にも出展させていただききました。

とても穏やかな星野さまは、男女問わず、お客様にも大人気です！！

今回は、そんな星野さまにお話を伺ってみました！！

←星野さまの折り紙作品です

Q 星野さまは、いつもお元気でいらっしゃいますが、何か健康の秘訣はありますか？

A 星野さま：内科の先生に、散歩と折り紙が良いと聞いてから、ずっと続けています。散歩は、毎朝4時半ごろ起きて、45～50分位かけて、近所を散歩します。今日も散歩したんですが、意外と涼しく、道端の草むらから虫の鳴き声が聞こえていました。早く秋になってほしいですね。

Q 折り紙も、とても手が込んでいて、素晴らしい作品ですね～。

A 星野さま：指を動かすのも、とっても良いんですよ。だから、家でもセンターでも、折り紙を折ったりして、指の運動を心がけています。

Q 星野さまの作品は、新潟大学の医学祭にも出展させていただきましたもんね！ とっても素敵な作品でした！！

A 星野さま：昨年、出展させてもらいましたね。とてもいい思い出です。

Q どんなお仕事をなさっていたんですか？

A 星野さま：八百屋をやっていました。30年位しましたね。今年は猛暑だったから、果物とか野菜の高騰は、避けられないでしょうねえ。

Q 最後に、デイサービスセンター柳都大橋に、何か要望などありましたら教えて下さい。

A 星野さま：う～～～ん。特にないですね（笑）。毎回楽しく過ごさせてもらっていますから。これからも、体に気をつけていきたいと思います。



星野さまと奥さまのツーショットです

お忙しいなか、お答えいただきまして、ありがとうございました！！

今後も、お客様に楽しんでいただけるような取り組みを、職員一同考えてまいります☆☆

今後とも、“はあとふるあたご”をよろしくお願い申し上げます。

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> ㈱はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
<編集委員> 岡田 健(委員長)／川田 千鶴子／羽尾 洋美／井村 領子／渡辺 伸子／齋藤 正明